



JICA ジブチ事務所 事業一覧

Activities of JICA Djibouti Office





JICA
Djibouti
Office

Contents

00 ジブチについて

01 インフラ

02 エネルギー

03 ガバナンス

04 地域安定化

05 教育

06 保健

07 農業・水産

08 防災

09 海外協力隊

10 長期研修

11 JICAチェア



00 ジブチについて

ジブチにおける日本の協力の概要

1982年：ジブチに対する日本の協力を開始。

2000年：ボランティア事業を展開するための拠点を開設し、青年海外協力隊（JOCV）の派遣を開始。

2005年：ジブチ支所となり、様々な二国間協力活動を包括的に行う拠点となる。

2020年：ジブチ支所からJICAジブチ事務所となり、事業の実施体制が強化された。

ジブチにおける優先支援分野

JICAは、ジブチ政府の策定した国家開発計画（Vision Djibouti 2035）などのジブチ政府の優先課題への対応を支援するため、「地域安定化に資する持続可能な経済社会開発支援」を基本方針とし、以下三つの分野に重点を置いて事業を展開しています。

1. 持続可能な経済成長に資する経済社会基盤強化
2. 経済成長を下支えする人材の育成
3. 地域の安定化努力強化

パルマレ道路橋梁建設計画

ジブチ市の東西を結びエチオピアにも繋がる交通の要所であるパルマレ道路に橋を建設するプロジェクト。気候変動により被害が増えている洪水時にも、より安全に通行できる橋を整備することで、都市交通の渋滞緩和と国際物流の安定化を図り、アフリカの角地域全体の経済活動を支えることが目的です。橋は全長約113mの6車線で建設予定です。



デジタル地理情報の管理及び データ共有能力開発プロジェクト

急速な都市拡大に対応するため、最新の測量技術を活用して地理空間情報を整備・更新し、統一的な管理・共有体制を構築するための技術協力。複数省庁・機関や民間企業と情報の共有を行い、社会サービス・インフラ整備、市民生活の利便性改善に寄与することを目的としています。





タジュラ湾海上輸送能力強化計画

人口の70%ほどが集中する首都ジブチ市内と、人口増加が見込まれる北部地域のタジュラ市を結ぶフェリー航路の輸送力不足や安全性の課題を解決するため、大型フェリーを供与し、港湾施設の整備するプロジェクト。海上輸送能力の強化を通じて、国内地域の開発促進・地域格差是正にも貢献するものです。

道路交通安全 2026年1月開始予定

自動車の増加、気候変動の影響による道路設備の悪化などから、ジブチ市では近年交通事故の増加が課題となっています。交通事故のデータ収集・分析・活用を行うことで、交通事故情報収集・分析能力向上を図り、交通安全の対策立案能力強化に寄与することを目指すものです。

航空安全能力構築

ジブチ民間航空局 (DCAA) には、人材育成のシステムの欠如、技術検査用の設備・技術スタッフ・財源不足により、テクノロジーの急速な進化に能力が追い付いていないことが課題です。研修を通じて能力強化をおこない、安全な運航を行えるようになることで、ジブチの航空輸送の発展を目指します。

地熱開発試掘プロジェクト

電力需要の急増と輸入依存の課題に対応するため、日本の地熱発電の知見を活かしてジブチで地熱資源評価を行い、ジブチ地熱開発公社

(ODEG)の能力強化を目指します。これにより地熱発電の事業化を促進し、エネルギー安全保障と持続可能な開発に貢献します。



債務管理アドバイザー

2026年開始予定

ウクライナ危機に対応するための財政出動、干ばつ、債務返済費用の急増等によって、ジブチ国の財政は厳しい状況にあります。債務の可視化、債務管理を適切に行うための仕組みの整備などにかかる債務管理局員の能力向上を支援し、財政の健全化に寄与します。

沿岸警備隊能力拡充プロジェクト

ジブチ海域は紅海の入口、アジア・欧州を結ぶ海上交通路の要衝に位置していますが、海賊被害、密航・密漁・密輸の横行が課題となっています。ジブチ沿岸警備隊に海上法執行、船艇運航、船艇維持管理の訓練等を行うことで、ジブチ海域の安定に資するものです。



海上保安能力向上計画

ジブチ沿岸警備隊がジブチ領海で発生する海賊、密漁、難民の海難事故などに対応するため、巡視艇2隻（全長約35m）及び浮棧橋の整備を行ったプロジェクトです。これにより、強風季も安定した長時間の巡航が可能となりました。

IGAD 地域における法務官の ビジネスと人権に関する能力強化

アフリカの角地域の地域共同体であるIGAD

（Intergovernmental Authority on Development）とJICAの初の協力案件です。「ビジネスと人権」に係るIGAD加盟国の法務官や外交官の能力強化を通じ、地域内の人の自由な移動を通じて国際ビジネスが可能になる環境醸成を促進を目指すものです。



みんなの学校：コミュニティ協働による教育改善プロジェクト

全国の公立小学校約200校を対象に、学校運営委員会（CGE：Comité de Gestion de Etablissement scolaire）を設置し、学校と近隣のコミュニティの協働を促すことにより、子どもの学習環境の改善を行い、総合的な基礎教育の質の改善を目的とするプロジェクトです。

地域と学校が協働する仕組みづくりを促進することで、持続可能な学校運営モデルを構築し、基礎学力の向上と教育へのアクセス改善に貢献します。



バルバラ地区ナッシブにおける 小中学校建設計画

人口増加を続ける首都ジブチ市郊外のバルバラ地区に建設された小中併設校を建設したプロジェクトで、2024年に1月に開校しました。約2600人の生徒に9年間の一貫した義務教育を提供し、就学継続を促進するモデル校となっています。日本の教育者である新渡戸稲造にちなんで校名「新渡戸稲造基礎教育学校」が名づけられました。現在は海外協力隊員も情報・理科・体育等の科目で活動中です。



ジブチ共和国中学校校舎建設計画 (通称：フクザワ)

1995年に首都ジブチ市郊外のバルバラ地区に建設された中学校です。現地語の「Fouku-Sawa(ともに開く)」と、日本の著名な教育者の一人である「福沢諭吉」の名前にちなんで校名が名づけられています。現在は3000人近くの生徒が在籍しており、海外協力隊派遣、日本文化交流などを通じて教育の質向上と両国の友好促進に貢献しています。

5S-KAIZEN-TQMを通じた保健医療サービスの の質向上のアフリカ地域広域展開促進

5つの第三次レベル病院※、2つのポリクリニックを対象に、日本の品質管理手法（5S-KAIZEN-TQM）を活用し、医療施設の運営改善と保健医療サービスの質向上を目指すものです。患者待ち時間の削減、病院環境改善、患者満足度向上など、医療の質を重視する組織文化の定着を図ります。



ジブチ市三次レベル病院における 医療機材整備計画

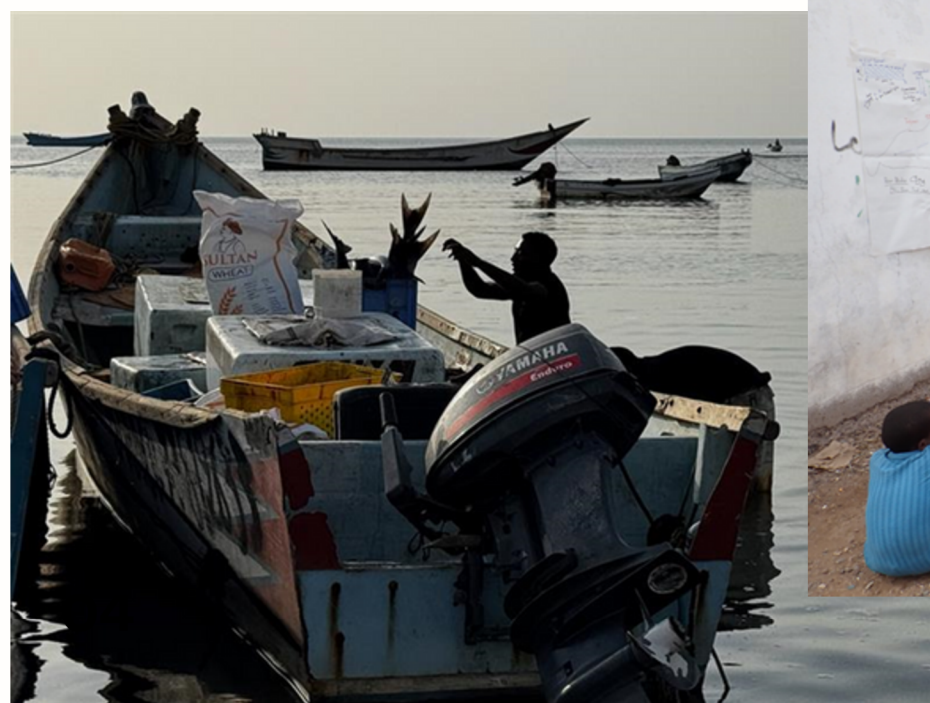
ジブチ市において4つの第三次レベル病院※の老朽化した医療機材を更新し、X線撮影装置、超音波診断装置、生化学自動分析装置等を導入することで診断・治療体制を強化し、感染症対策能力も向上させます。機材維持管理の研修やガイドライン作成なども支援しています。



※第三次レベル病院：首都ジブチ市にある国内で最も高度な医療を提供する施設で、複雑な手術や集中治療など専門的な診療をおこなっている。

ブルーエコノミー促進のための 水産セクター能力強化プロジェクト

ジブチは豊富な漁業資源を有していながら、不十分な漁業資源開発に加え、気候変動による海洋環境の変化に対応できていないという課題があります。零細漁民とジブチ漁業局を対象に、能力・組織強化を支援し、漁民の生計向上、食糧安全保障、地域経済活性化を図ります。



ジブチにおける広域緑化ポテンシャル 評価に基づいた発展的・持続可能 水資源管理技術確立に関する研究

2025年8月終了

乾燥地で効率的かつ持続可能な水資源利用を確立するため、ジブチ全土の水資源ポテンシャルと緑化ポテンシャルを評価し、農業・緑化モデルを提案する研究プロジェクト。東京農業大学とジブチ大学を中心に日本とジブチの研究機関が連携しました。



気象業務改善プロジェクト

ジブチでは気候変動による干ばつや洪水リスクが高まっています。気象観測機器の整備、データ収集・解析システムの高度化、予報精度向上、情報発信体制の改善を行い、ジブチ気象局の能力強化を行うことでジブチ政府の防災政策に資することを目的としています。



09

JICA海外協力隊



ジブチでは2000年から協力隊員の派遣を開始し、累計170名以上を派遣してきました。
現在以下の分野で隊員が活躍しています。

自動車整備分野



溶接分野



理科教育分野



体育分野



PCインストラクター分野



青少年活動分野



その他にも小学校教育分野
家政・生活改善分野
番組制作分野
の隊員が活動しています。
(2025年12月時点)



10 長期研修

JICAの長期研修は、ジブチの若手政府関係者を中心に、大学院レベルの学位取得や専門分野の高度な知識・技術習得を支援する制度です。

2025年時点で、ジブチでは累計26名の実績があり、現在も7名が日本での勉学に励んでいます。



11 JICAチェア



現地の大学・研究機関と連携し、日本の近代化・開発経験を途上国に伝える機会を提供し、国の発展に寄与する知日派・親日派の人材育成、による両国間の関係維持・強化を目的とする枠組みです。ジブチでは2022年度から開始し、2025年度で4回目の実施を迎えます。

4

QUALITY
EDUCATION



7

AFFORDABLE AND
CLEAN ENERGY



8

DECENT WORK AND
ECONOMIC GROWTH



9

INDUSTRY, INNOVATION
AND INFRASTRUCTURE



16

PEACE, JUSTICE
AND STRONG
INSTITUTIONS



17

PARTNERSHIPS
FOR THE GOALS



4

QUALITY
EDUCATION



8

DECENT WORK AND
ECONOMIC GROWTH



9

INDUSTRY, INNOVATION
AND INFRASTRUCTURE



16

PEACE, JUSTICE
AND STRONG
INSTITUTIONS



17

PARTNERSHIPS
FOR THE GOALS

